

新津第二中学校区 地域カルテ

秋葉区

H30年8月更新

I.地域の基礎データ

1.中学校区の概要

秋葉区の北西部に位置し、能代川・小阿賀野川・信濃川に囲まれた水郷で、土砂の堆積にしたがい、水田と集落を築いてきた地域です。地域内には住宅地が広がり、市街地を形成する人口集中地区です。JR荻川駅や新津バイパスがあり、交通アクセスに優れた地域となっています。

かつては純農村地域でしたが、昭和40年頃より荻川駅周辺の宅地開発に加え工業団地造成等で人口が増え現在も世帯数、人口共に増加しています。

コミュニティ協議会※

荻川コミュニティ振興協議会

小学校

結小学校

荻川小学校

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。

位置図



新津第二中学校区

Ⅱ.人口

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上	世帯数	1世帯当たり 世帯人員
								(人)	(世帯)
2011年	17,734	8,584	9,150	3,032	11,231	3,471	1,714	6,103	2.91
		48.4%	51.6%	17.1%	63.3%	19.6%	9.7%		
2016年	18,196	8,823	9,373	3,022	10,851	4,323	2,027	6,593	2.76
		48.5%	51.5%	16.6%	59.6%	23.8%	11.1%		
増減	462	239	223	-10	-380	852	313	490	-0.15
	2.6%	2.8%	2.4%	-0.3%	-3.4%	24.5%	18.3%		

2.人口推計

	総数	男	女	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	18,357	8,910	9,447	2,717	10,848	4,792	2,227
		48.5%	51.5%	14.8%	59.1%	26.1%	12.1%
2026年	18,358	8,911	9,447	2,412	11,082	4,864	2,794
		48.5%	51.5%	13.1%	60.4%	26.5%	15.2%
2031年	18,357	8,918	9,439	2,343	11,224	4,790	3,036
		48.6%	51.4%	12.8%	61.1%	26.1%	16.5%
2036年	18,383	8,938	9,445	2,426	11,030	4,928	2,937
		48.6%	51.4%	13.2%	60.0%	26.8%	16.0%
2016-2036	187	115	72	-596	179	605	910
増減	1.0%	1.3%	0.8%	-19.7%	1.6%	14.0%	44.9%

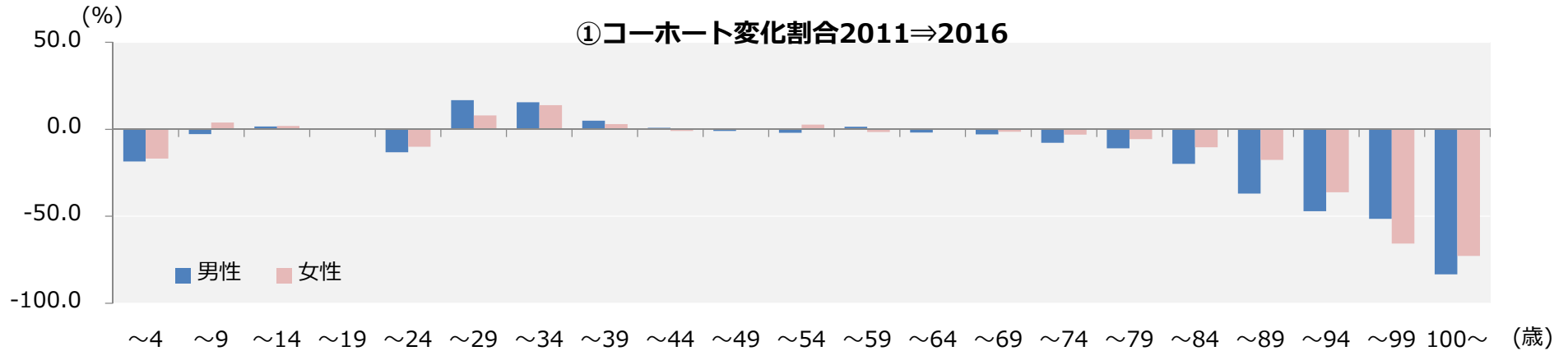
○人口は、2016年の18,196人から2036年には18,383人と1.0%増加する。

○老年人口は、2016年の4,323人から2036年には4,928人と14.0%増加し、老年人口割合も23.8%から26.8%に増加する。

○年少人口は、2016年の3,022人から2036年には2,426名となり、19.7%減少する。

○生産年齢人口は、2016年の10,851人から2036年には11,030人となり、1.6%増加する。

3.人口推計グラフ

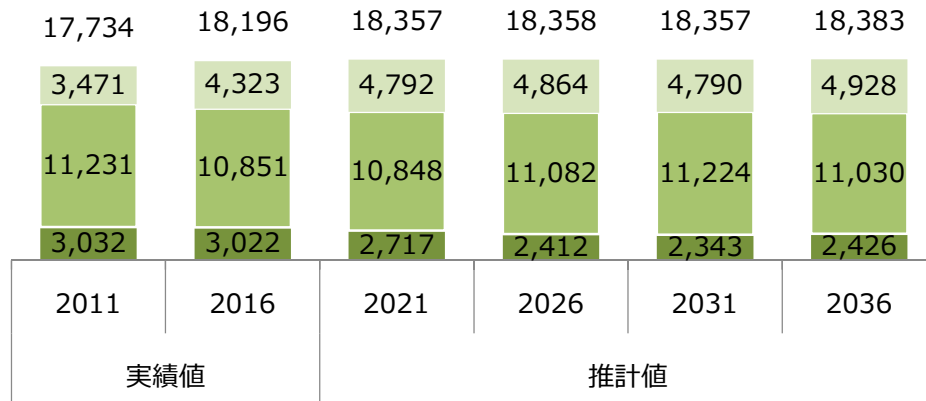


○就職に至る20～24歳は変化割合が1割以上のマイナスとなっている。
 ○25～29歳、30～34歳、35～39歳の年代がプラスとなっており、5～9歳、10～14歳人口のプラス要因のひとつと考えられるとともに、今後、0～4歳人口のプラスが期待できる。

(人)

② 年齢3区分別人口推移

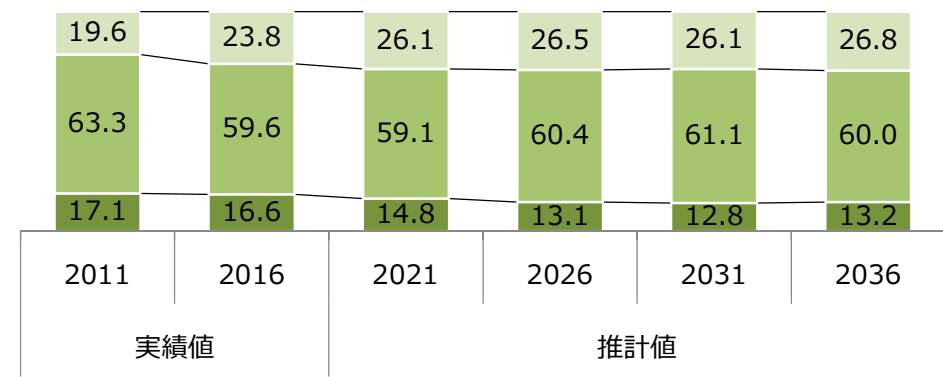
■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



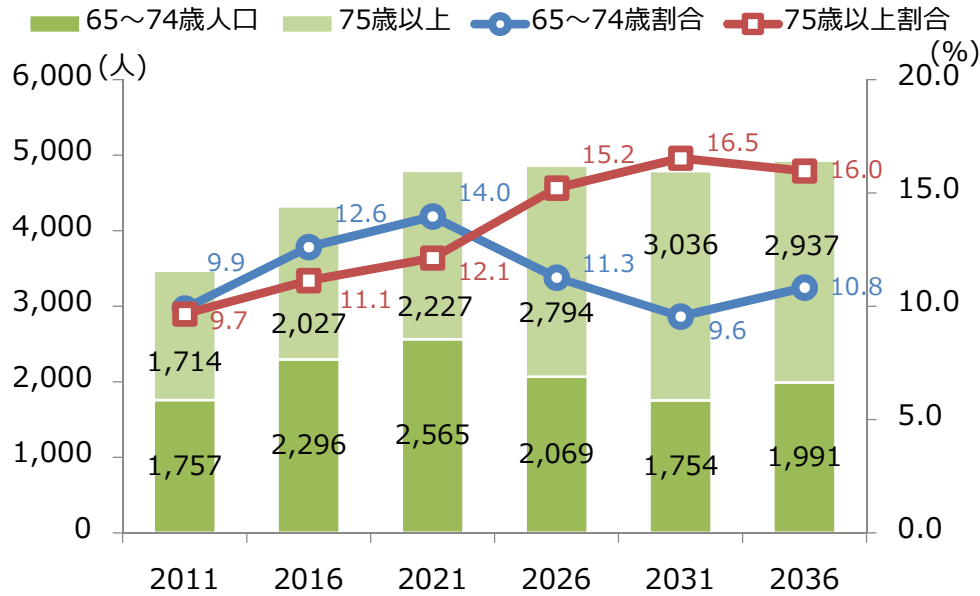
(%)

③ 年齢3区分別人口割合の推移

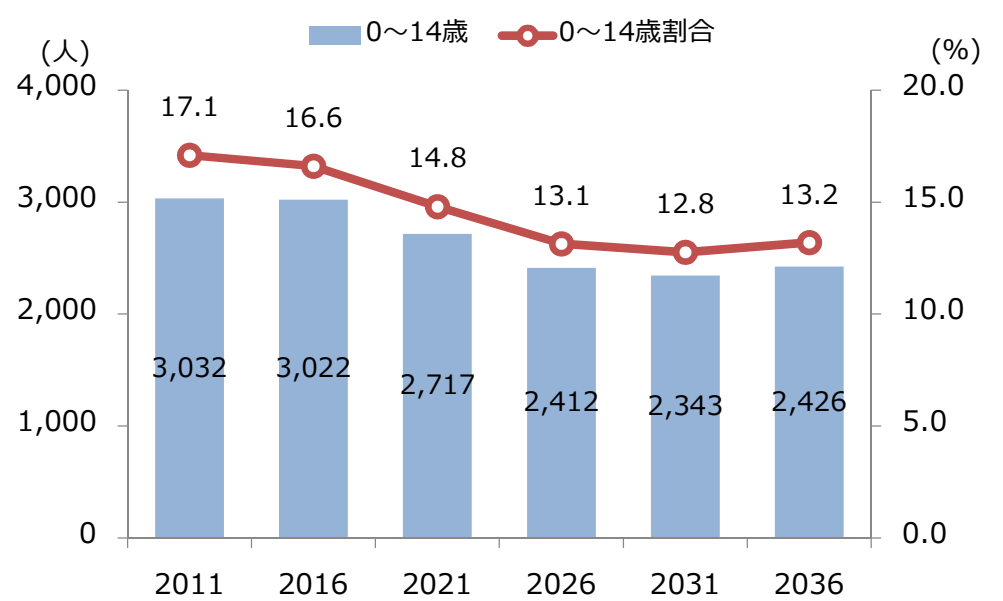
■ 0～14歳 ■ 15歳～64歳 ■ 65歳以上



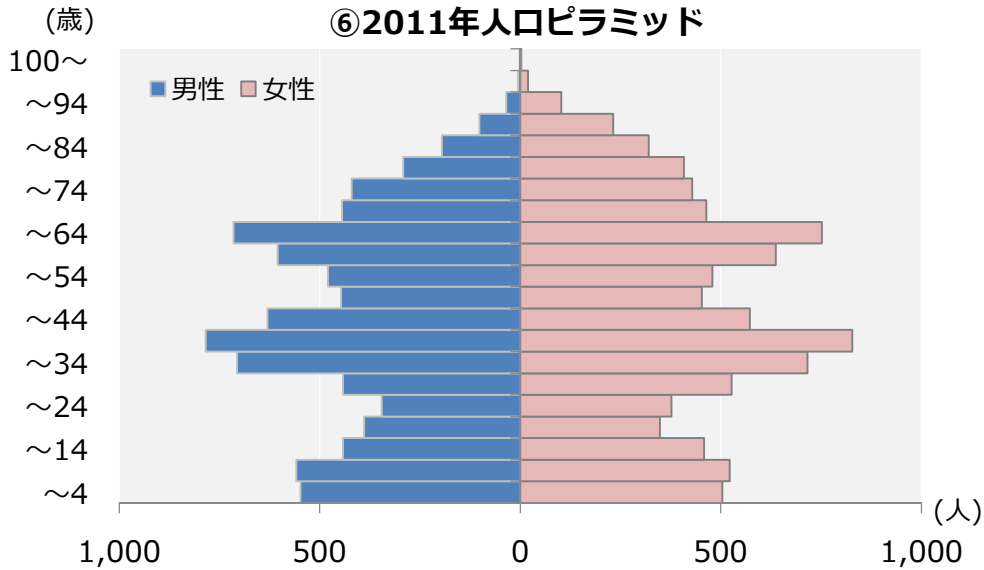
④ 高齢者人口の推移



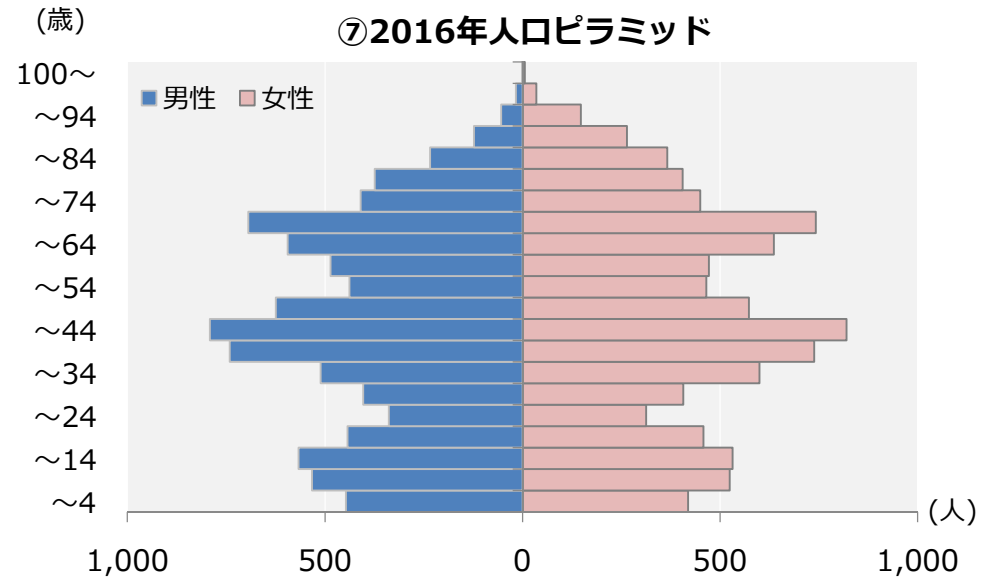
⑤ 年少人口の推移

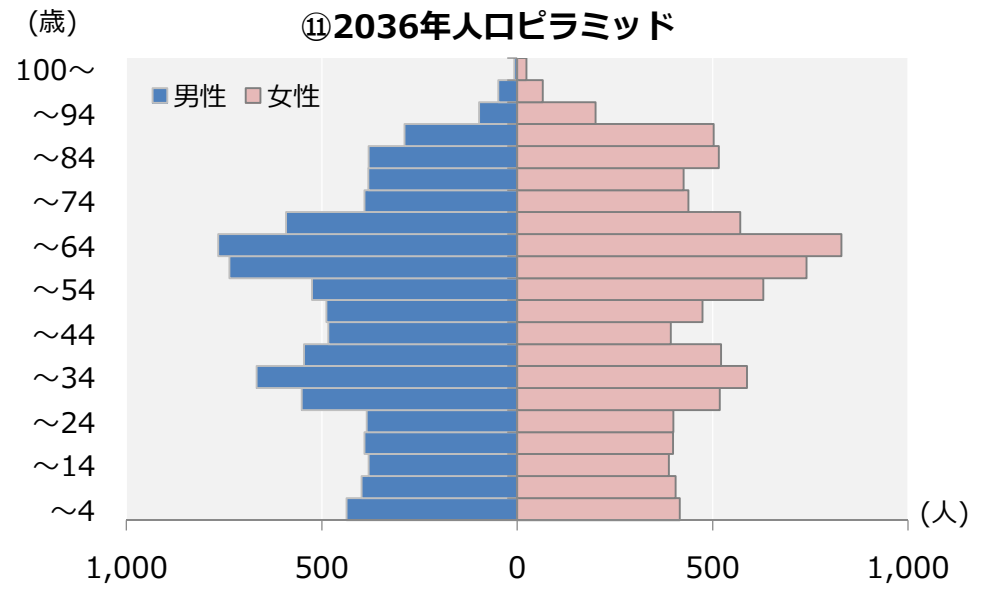
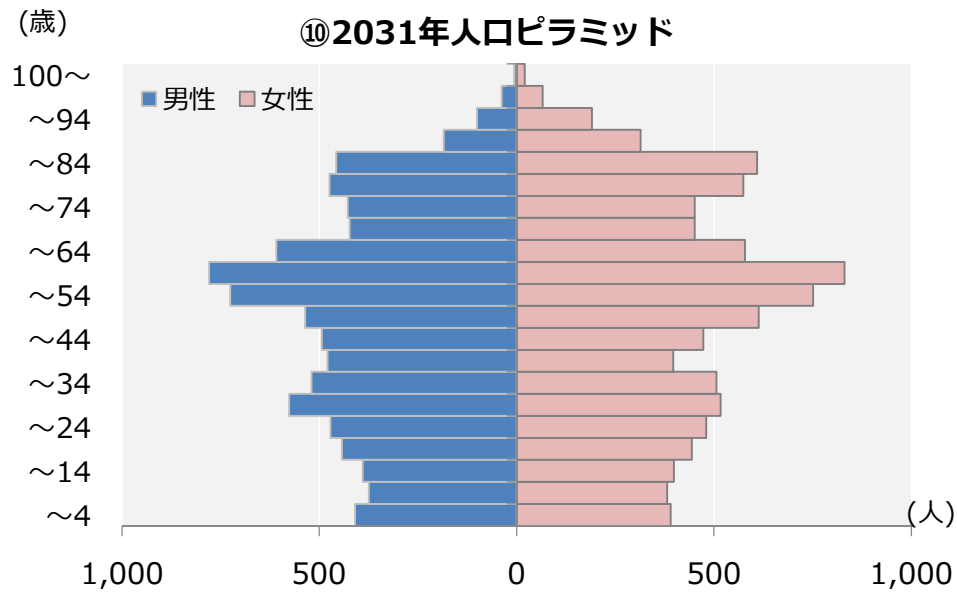
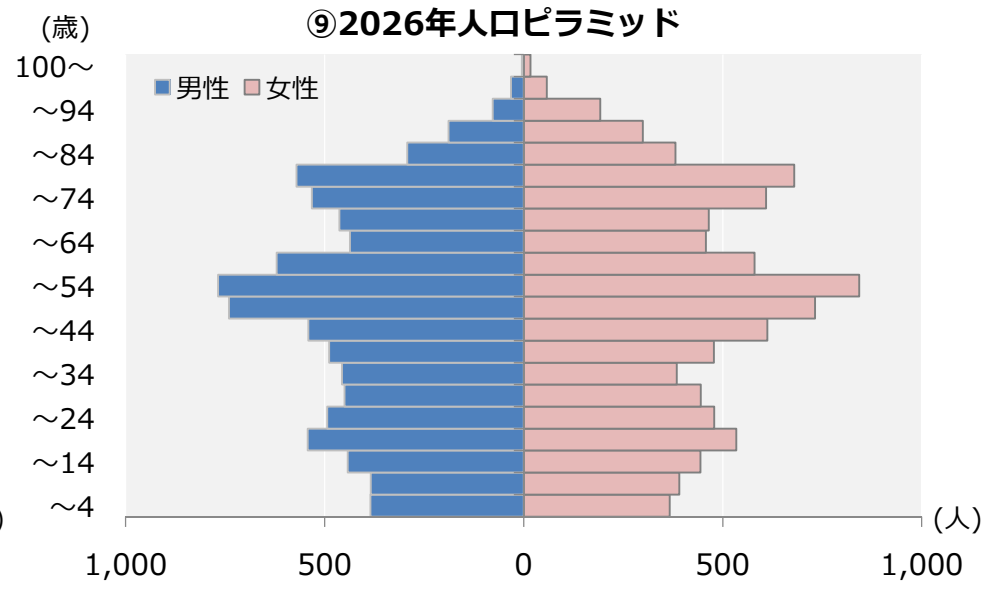
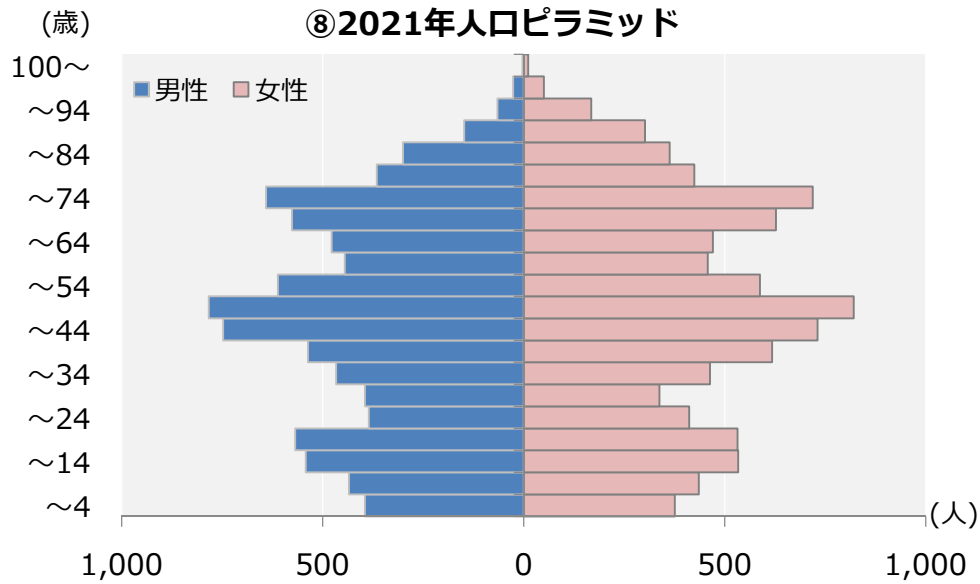


⑥ 2011年人口ピラミッド



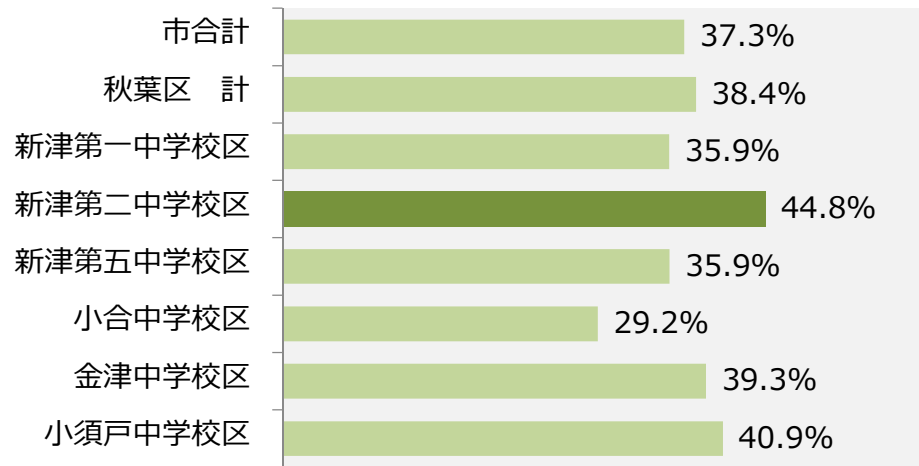
⑦ 2016年人口ピラミッド



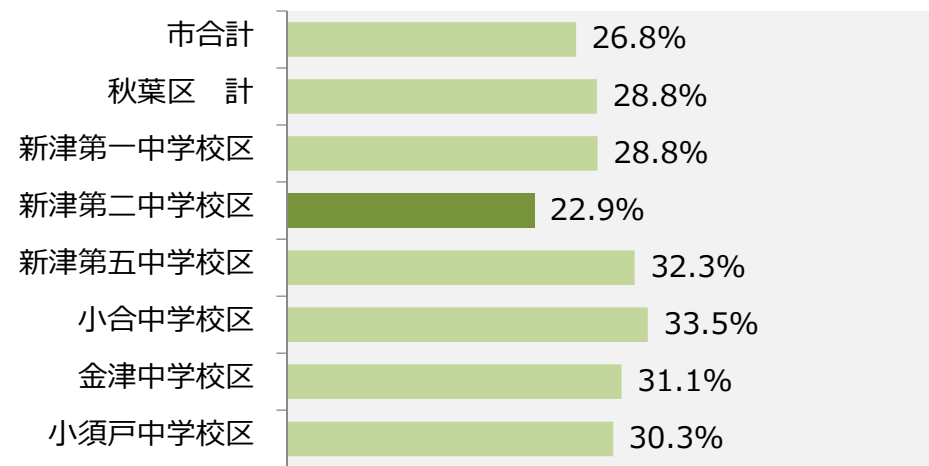


Ⅲ.健康データ（平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ）

①健診受診率

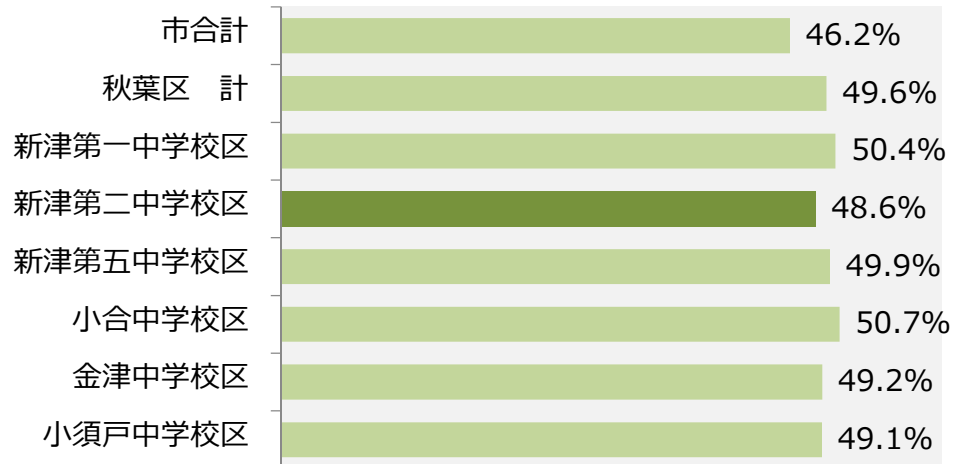


②高齢化率

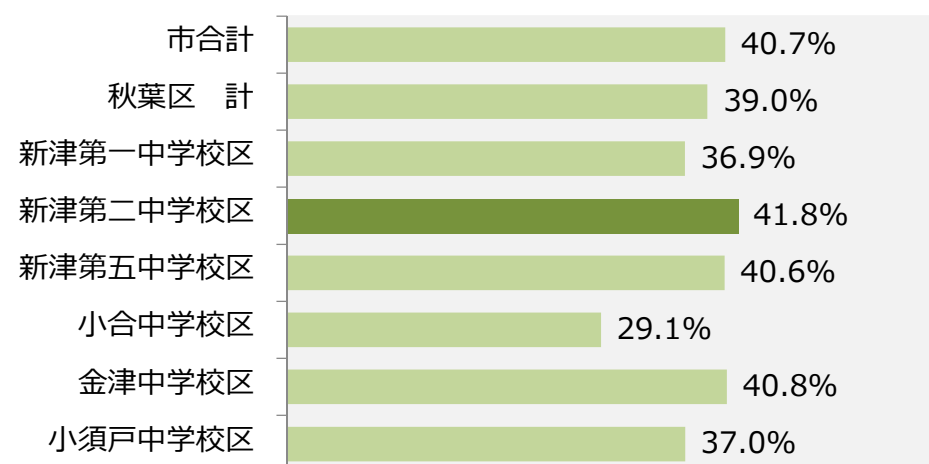


※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

③血糖



④血圧（収縮期130mmHg以上）

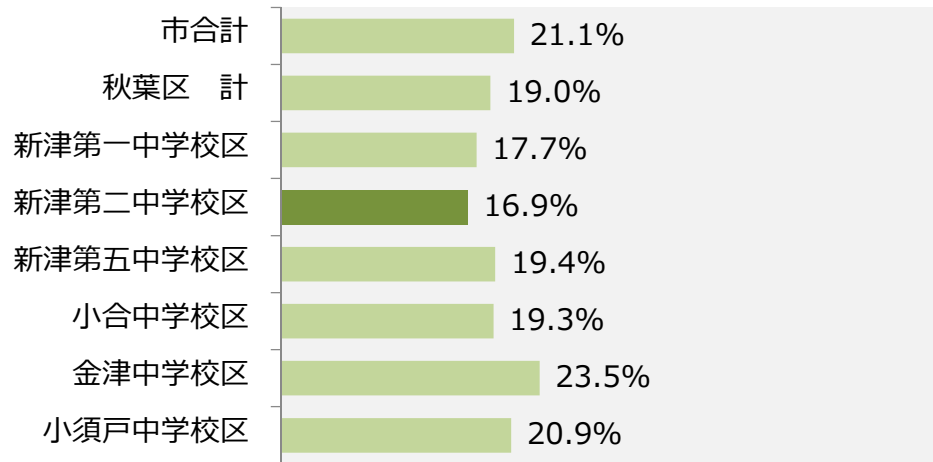


※国民健康保険・後期高齢者医療保険：HbA1c(ヘムoglobin A1c)5.6%以上
協会けんぽ：空腹時血糖100mg/dl以上

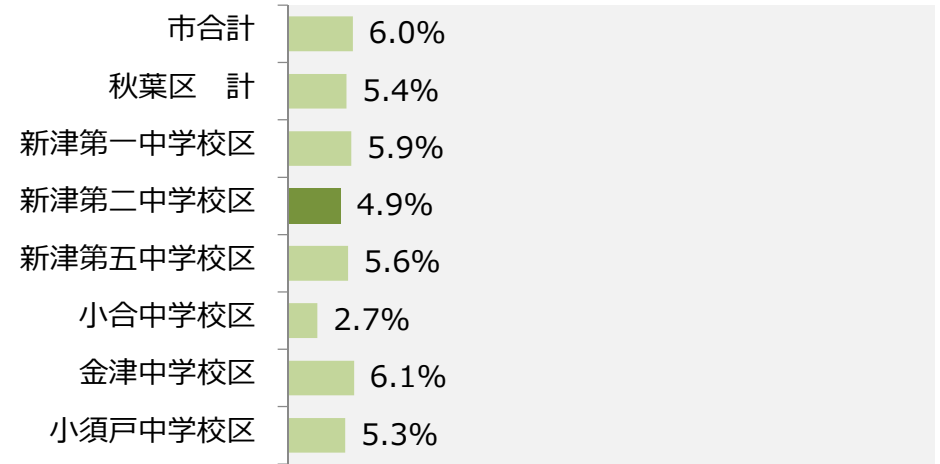
■HbA1c（ヘモグロビンA1c）
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われている。

新津第二中学校区

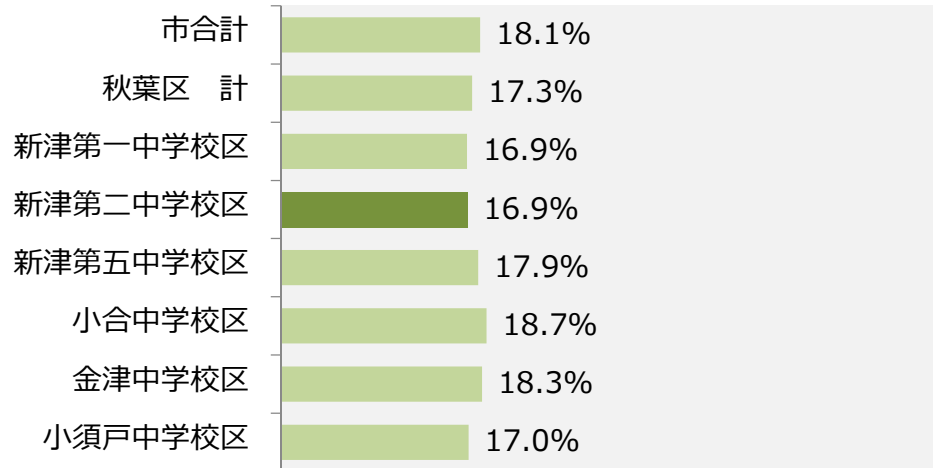
⑤脂質（中性脂肪150mg/dl以上）



⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当

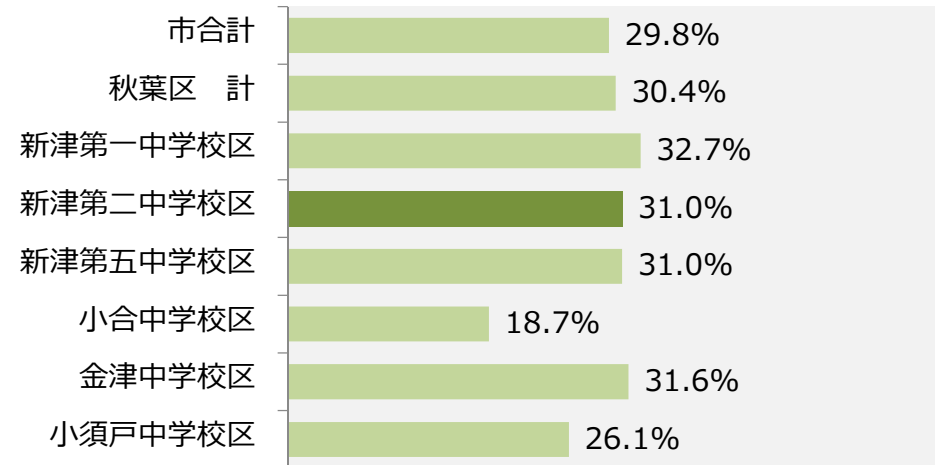


⑦喫煙



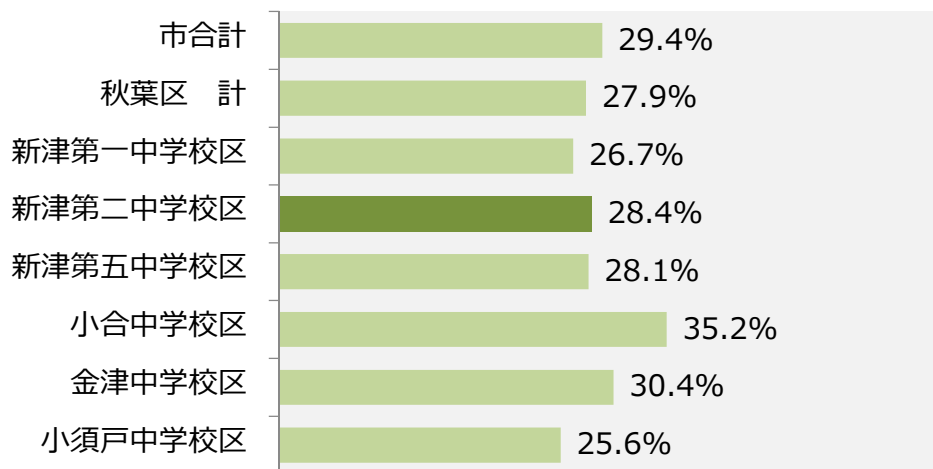
※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

⑧運動習慣



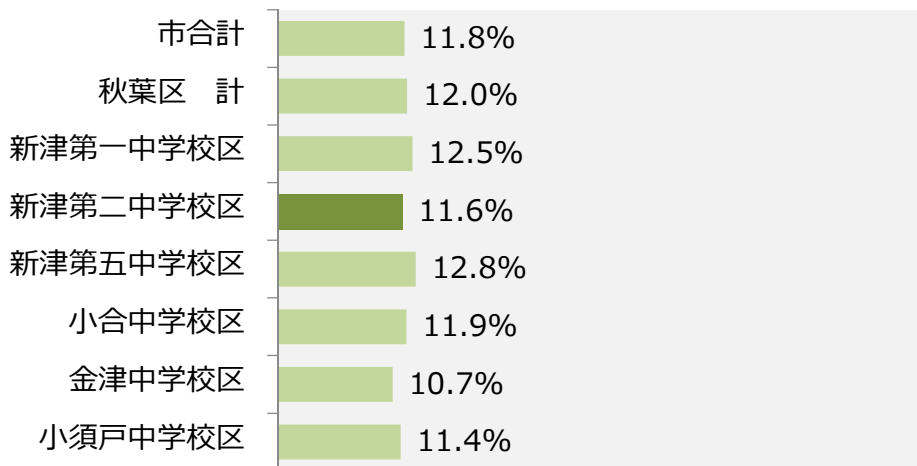
※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合

⑨ 飲酒頻度（毎日）



※お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度は「毎日」と回答した人の割合

⑩ 食習慣（夕食後の間食）



※夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上あると回答した人の割合

⑪ 患者予備群、治療放置群等（国保・後期高齢）

	健診 対象者数 (国保+ 後期) 人数	未把握		未通院 患者予備群 治療放置群	
		人数	構成割合	人数	構成割合
新津第一中学校区	7,962	2,377	29.9%	311	3.9%
新津第二中学校区	5,008	1,412	28.2%	184	3.7%
新津第五中学校区	6,627	2,135	32.2%	239	3.6%
小合中学校区	1,185	364	30.7%	37	3.1%
金津中学校区	2,586	747	28.9%	138	5.3%
小須戸中学校区	3,612	1,083	30.0%	140	3.9%
秋葉区 計	26,980	8,118	30.1%	1,049	3.9%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者（40歳以上）の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で

診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧：140又は90mmHg以上 ・中性脂肪：300mg/dl以上

・LDLコレステロール：140mg/dl以上 ・HDLコレステロール：35mg/dl未満

■ LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化をすすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■ HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があるといわれている。

IV.施設データ

1.施設一覧

施設分類	施設名	施設基本情報			避難所	コスト・利用情報						分析領域 ※3		
		複合施設 ※2	建築年			使用面積 (㎡)	コスト 実績(全市平均)			利用率・利用量 実績(全市平均)				
コミュニティ施設	荻川コミュニティセンター	A	S58	～	H15	2,717.89	○	217.0	円/人/回	(928.0)	43.8	%	(26.3)	1
社会教育施設	荻川地区図書室	A	S58	～	H15	130.18	○	260.0	円/冊	(508.0)	1.1	倍	(1.9)	2
学校教育系施設	荻川小学校		H22	～	H23	7,821.61	○	46.8	万円/人/年	(81.3)	12.7	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	結小学校		S46	～	H24	5,889.05	○	46.8	万円/人/年	(81.3)	8.2	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	新津第二中学校		S56	～	H26	8,988.52	○	57.8	万円/人/年	(88.5)	16.0	㎡/人	(28.5)	1
学校教育系施設	市之瀬幼稚園		S33	～	H25	507.53	○	65.8	万円/人/年	(74.9)	8.8	㎡/人	(16.4)	1
学校教育系施設	結幼稚園		S47	～	H24	909.65	○	49.0	万円/人/年	(74.9)	8.5	㎡/人	(16.4)	1
公営住宅	新津田島住宅		H24	～	H25	2,050.98			-			-		-
その他公共用施設	新津斎場		S55			633.00			-			-		-

※1 平成28年度財産白書（平成27年度決算ベース）から引用

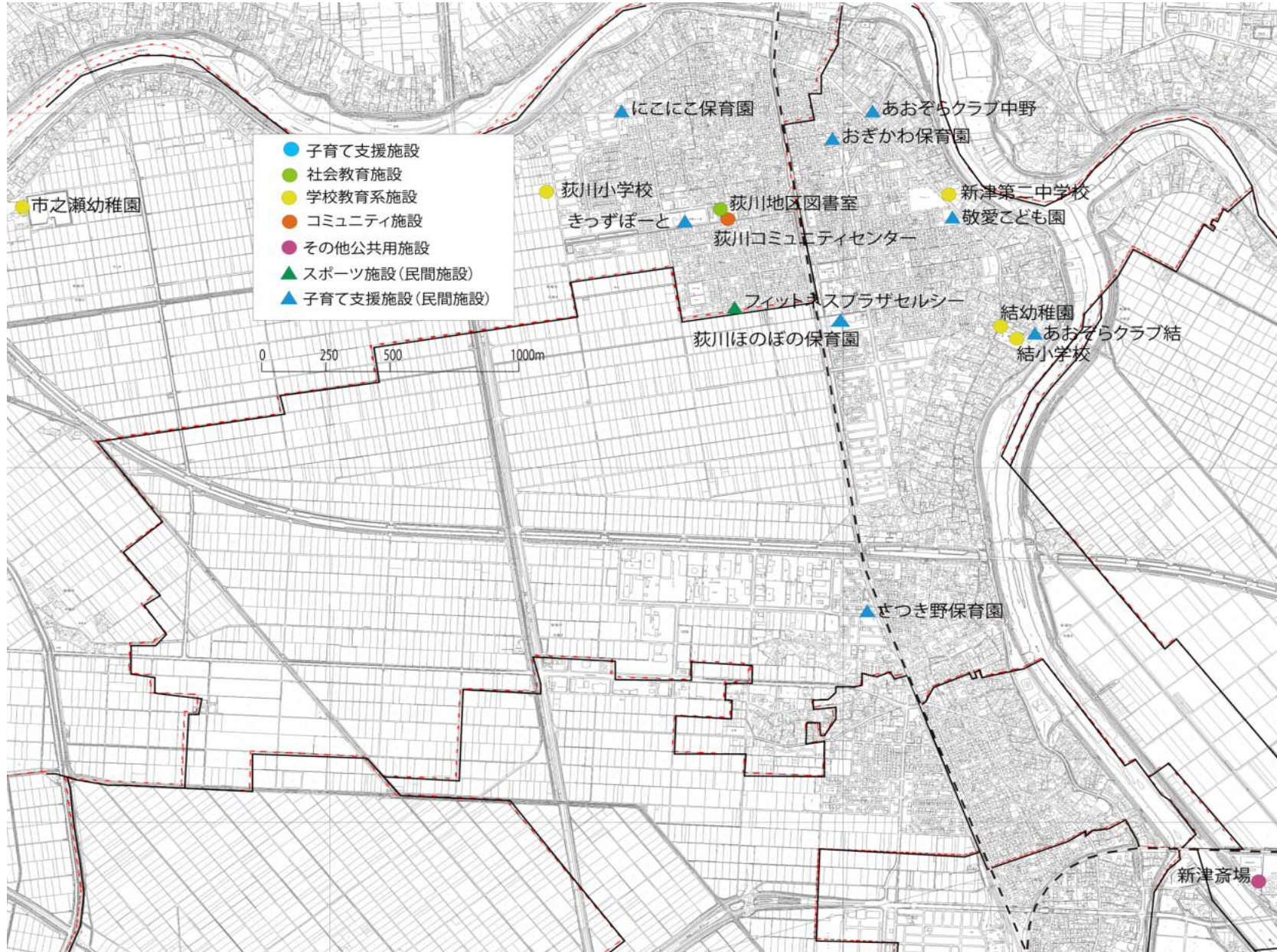
※2 アルファベットが同じものは複合施設

※3 分析領域の番号は下記項目のとおり

- 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設

- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

※公営住宅は位置図には未掲載。

新津第二中学校区